

会 議 録				
平成 2 5 年度第 5 回 社会教育委員の会議	日 時	平成 25 年 10 月 18 日(水) 午前 9 時 30 分～11 時 30 分	場 所	小金井市第二庁舎 8 階 8 0 1 会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出 席 者	委 員	中村議長、原嶋副議長 樋口、本多、石田、倉持、小山田、清水 各委員		
	その他 事務局	津幡教育長 西田生涯学習部長 天野生涯学習課長、尾崎国体推進担当課長、大関公民館長、 上石図書館長補佐 伊東生涯学習係主事		
傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可		傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1 委嘱状伝達式				
(1) 委嘱状伝達				
(2) 教育長挨拶				
(3) 委員紹介				
(4) 事務局紹介				
2 協議事項				
(1) 正副議長の互選について				
(2) 平成 2 5 年度の会議開催日について (確認)				
(3) 平成 2 6 年度の会議開催日について				
(4) 小委員会委員の選任及び日程の検討について				
(5) 第 1 2 ・ 1 3 期小金井市図書館協議会への出向委員の選任について				
(6) 放課後子どもプラン運営委員会への出向委員の選任について				
(7) 全国大会等参加団体補助金の交付について				
(8) 小金井市生涯学習推進計画について				
(9) その他				
3 報告事項				
(1) 第 3 2 期公民館運営審議会委員の委嘱について				
(2) スポーツ祭東京 2 0 1 3 について				
(3) その他				

会 議 結 果

(天野生涯学習課長) おはよう。本日は忙しい中、出席いただきありがとうございます。会議が始まるまでの間、司会進行を務めさせていただき、生涯学習課長の天野である。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は第27期最初の会議であるので、会議に入る前に、確認させていただき。会議録作成用に録音をさせていただきたいと思うがよろしいか。では、そのようにさせていただきます。

次に配付資料の確認をさせていただき。第27期小金井市社会教育委員名簿。小金井市社会教育委員会会議規則。平成25年度社会教育委員の会議開催予定表。平成26年度社会教育委員の会議開催予定表。平成25年度社会教育委員の会議小委員会開催予定表。平成26年度社会教育委員の会議小委員会開催予定表。第13期小金井市図書館協議会委員の推薦について(依頼)という文書。放課後子どもプラン運営委員会設置要綱。全国大会等参加団体補助金に関する資料。こちらは両面刷りで、裏面に参考資料がついている。第3次小金井市生涯学習推進計画策定に係るスケジュール。平成24年度第2次小金井市生涯学習推進計画の実施状況及び方向性調査結果。小金井市公民館運営審議会委員名簿(第32期)。社協連会報。以上が全員に配られている資料である。新しく委員になられた方には第2次生涯学習推進計画を配付している。引き続き委員をされている方で第2次生涯学習推進計画を紛失した等があればあわせてお配りするがよろしいか。それと、委員のみに配付しているもので、社協情報。小金井月刊こうみんかんナンバー426。最後に封書で個人宛のものになるが、小金井市民コーラスのつどいを進める会からのもの。三市連携講座のチラシが、小金井会場、小平会場、国分寺会場、それぞれ1枚ずつで3枚一組のものを配付してある。あと、本日の追加資料として、第68回国民体育大会開催報告が(1)、(2)、それぞれお配りしてある。資料の配付漏れ等はないか。よろしいか。

それでは次第に従い順次進めさせていただき。

1 委嘱状伝達式

(1) 委嘱状伝達

まず初めに津幡教育長より社会教育委員になられた皆様へ委嘱状を交付する。任期については平成25年9月9日から平成27年9月8日までの2年間となっている。本日配付した名簿順にお名前をお呼びするので、教育長がお席まで伺ったらお立ちいただくようお願いする。なお、名簿については、小金井市社会教育委員の設置に関する条例及び小金井市社会教育委員候補者選出要綱で定められている区分の順で、また同一の区分の場合は五十音順で作成させていただいている。では初めに、樋口美佐子委員。

(津幡教育長) 樋口美佐子様。第27期小金井市社会教育委員を委嘱する。任期、平

成 25 年 9 月 9 日から 27 年 9 月 8 日まで。平成 25 年 9 月 9 日、小金井市教育委員会。よろしく願います。

(天野生涯学習課長) 続いて原嶋和夫委員。

(津幡教育長) 原嶋和夫様。以下同文であるので省略させていただく。よろしく願います。

(天野生涯学習課長) 石田静子委員。

(津幡教育長) 石田静子様。以下同文。よろしく願います。

(天野生涯学習課長) 本多正子委員。

(津幡教育長) 本多正子様。よろしく願います。

(天野生涯学習課長) 倉持伸江委員。

(津幡教育長) 倉持伸江様。よろしく願います。

(天野生涯学習課長) 小山田佳代委員。

(津幡教育長) 小山田佳代様。よろしく願います。

(天野生涯学習課長) 清水勉委員。

(津幡教育長) 清水勉様。よろしく願います。

(天野生涯学習課長) 中村彰宏委員。

(津幡教育長) 中村彰宏様。よろしく願います。

(2) 教育長挨拶

(天野生涯学習課長) 次に教育長よりご挨拶をいただく。

(津幡教育長) 第 27 期の社会教育委員の委嘱をさせていただいた。それぞれ推薦団体あるいは市民公募ということでお志を持ちながらこの職についていただいたということで大変うれしく思っているし、11万7,000人の生涯学習の基本を審議しご助言いただく組織として大変大事な組織につかれたことを心からお喜び申し上げるし、ご期待も申し上げたいと思っている。27期、引き続き前の26期からの委員もいるが、かなり大幅な入れかえになっている。そういう意味では新鮮な気持ちで、新しいチームということでチーム力を大いに、新たに構築しながら発揮していただくことが大事になると思っている。社会教育をめぐる課題はたくさんあるが、「生涯学習」という言葉と「社会教育」という言葉がこの審議会の場では錯綜しながら審議を進めていただくことになるかと思っている。特に、生涯学習計画の書きかえの時期にもかかってくるので、今までのさまざまな計画を見直していただいたり、関係の審議会の審議の状況等も参考にしながらまとめていただくという大事な役割が、これから来るのかなと思っている。いずれにしても、きょうは書類だけでたくさんお配りしたように、いろいろな角度から総合的に判断をしていただくということが大事なようになってきているし、市政の一端ということで皆さんのお力をおかりしたいと思っている。どうぞよろしく願います。

(3) 委員紹介

(天野生涯学習課長) 次に委員の皆様の自己紹介をお願いしたい。樋口美佐子委員から名簿順に自己紹介をお願いする。

(樋口委員) P連から出向で来た。今期、社会教育委員を務めさせてもらう樋口である。よろしく願いする。

(原嶋委員) 小金井市の体育協会から推薦を受けて来た原嶋である。よろしく願いする。

(石田委員) 国際ソロプチミスト東京一小金井という、職業を持つ婦人の集まりという団体から来た。石田静子である。よろしく願いする。

(本多委員) 小金井市文化連盟から推薦で2期務めさせていただいた本多正子である。よろしく願いする。

(倉持委員) 東京学芸大学で社会教育生涯学習の授業を担当している倉持である。よろしく願いする。今期で4期目となり一番長いが、お役に立てるかどうかわからないがどうぞよろしく願いする。

(小山田委員) 今期から参加させていただく、市民公募枠で参加している小山田である。よろしく願いする。ふだんはNPO法人東京学芸大こども未来研究所というところで研究員をやっていて、こちらのチラシにある三市連携の講座をずっと平成19年から担当している。どうぞよろしく願いする。

(清水委員) 清水である。市民公募で今回初めて参加させていただいている。地域では商工会などにも関係しており、そういう観点の支援ができればと思うし、個人的には小金井薪能という市民団体の企画に20年近く携わってきている。今後ともよろしく願いする。

(中村委員) 初めまして、中村である。公募枠で3期目になり、現在、前原小学校の学校運営連絡員と、あわせてNPO法人市民の図書館・公民館小金井にも関わっている。よろしく願いする。

(4) 事務局紹介

(天野生涯学習課長) 次に行政側の職員の紹介をさせていただく。まず、先ほどご挨拶をいただいた教育長の津幡である。

(津幡教育長) 津幡である。よろしく願いする。

(天野生涯学習課長) 生涯学習部長の西田である。

(西田生涯学習部長) 西田である。よろしく願いする。

(天野生涯学習課長) 国体推進担当課長の尾崎である。

(尾崎国体推進担当課長) 尾崎である。どうぞよろしく願いする。

(天野生涯学習課長) 公民館長の大関である。

(大関公民館長) 大関である。よろしく願いする。

(天野生涯学習課長) 図書館長補佐の上石である。

(上石図書館長補佐) 上石である。よろしく願います。

(天野生涯学習課長) 事務局を担当する生涯学習係主事の伊東である。

(伊東生涯学習係主事) 伊東である。よろしく願います。

(天野生涯学習課長) 最後に私、生涯学習課長をしている天野である。よろしく願います。

会議に入る前に、議事録の作成方法について確認させていただく。市の会議については、小金井市市民参加条例第6条の規定により原則公開となっている。また、同条例施行規則第5条には会議録の作成方法として全文記録、発言者の発言内容ごとの要点記録、会議内容の要点記録の3つの中から選択することと規定されている。本会議については、これまで発言者の発言内容ごとの要点記録を作成してきている。事務局としては引き続き発言者の発言内容ごとの要点記録を作成したいと考えているが、ご異議ないか。

(「異議なし」の声あり)

ではそのようにさせていただく。議事録作成の都合上、ご発言の前にはお名前をおっしゃっていただくようお願いする。

2 協議事項

(1) 正副議長の互選について

(天野生涯学習課長) それでは議事に移る。初めに議長の互選を行う。議長が決まるまでの間、生涯学習部長が仮の議長を務めさせていただく。

教育長については、次の公務の関係でここで失礼させていただく。

(教育長 退室)

(西田生涯学習部長) それでは議長選出までの間、仮の議長を務めさせていただく生涯学習部長の西田である。よろしく願います。

直ちに議事に入る。議長については社会教育委員会規則第2条の規定により委員の互選によって定めるとされている。指名推薦の方法で行いたいと思うが、これにご異議ないか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認める。それではどなたかご推薦いただけるか。

(本多委員) 2期4年間ご一緒したグループの中からも声が出ているが、中村委員にぜひお願いしたいと思う。すごく人柄が温かな方であるので、これから大変なことを抱えるので、個人としても推薦させていただきたいと思う。よろしく願います。

(西田生涯学習部長) ただいま本多委員より中村委員をご推薦いただいた。これにご異議ないか。

(「異議なし」の声あり)

では、これより中村委員に議長をお願いしたいと思う。中村委員、議長席へ願います。私の職務はこれで終了した。失礼した。

(天野生涯学習課長) それでは、議長になられた中村委員から、議長就任の挨拶をお願いします。

(中村議長) 改めて、中村である。よろしくをお願いします。前議長の本川議長のような強力なリーダーシップを発揮することは私にはできないと思う。であるので、ここにいらっしゃる皆様はそれぞれ各界でご活躍されている皆様であるので、皆様のお力をかりながら、若輩者ではあるが粛々と議事を進行させていただきたいと思うので、皆様方のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

では、早速であるが、次第に従い副議長の互選を行いたいと思う。副議長については、議長同様、社会教育委員会議規則第2条の規定により、委員の互選によって定めるとされている。どなたか立候補またはご推薦等あるか。

(本多委員) 前期26期の議長、副議長が同時にやめられて、私たちはすごく不安になった。であるので、新しい方の中から推薦したいと個人的には思っている。体育協会の方とかかわりがあるので、原嶋さん、いかがであるか。お忙しいと思うが、個人的な気持ちも入り、よろしくお願ひしたい。

(中村議長) 原嶋委員、よろしいか。

(原嶋委員) はい。

(中村議長) では、これより原嶋委員におかれては副議長ということで、副議長席にご移動願う。

では早速であるが、原嶋委員から副議長就任のご挨拶をいただきたいと思う。

(原嶋副議長) 原嶋である。今、体協の総務部長で、まだ1年目であるが規程・就業規則や機関誌の体協だよりなどを担当している。以前は学校教育、教育委員会などに携わっていた。校長も十何年かやっていたが、全く違う仕事を今やっていて、自分には励みになると思っている。社会教育委員、今から勉強しないと皆さんに追いつかないのではないかと思うが頑張る。よろしくをお願いします。

(中村議長) 今後ともよろしくをお願いします。

(2) 平成25年度の会議開催日について (確認)

(中村議長) 続いて協議事項(2)平成25年度の会議開催日についてを議題とする。事務局から説明をお願いします。

(天野生涯学習課長) 本日お手元に、現時点で予定されている本会議の開催日をお配りしている。原則として市議会の開催月を除く月の第3水曜日に設定しているが、ここで半数以上の委員がかわられたので、改めて確認しておきたいと思う。場所の確保ができるかということもあるのでどこまで合わせられるかはわからないが、できるだけ多くの委員が出席できる日に開催したいと思うので、変更の必要があればその点も含めご協議いただければと思う。よろしくをお願いします。

(中村議長) 事務局からの説明が終わったが、まず残り3回の会議が予定されているが、この日程について、このままでよいか、あるいは変更が必要かについて確認をさ

せていただきたい。ご意見のある方はご遠慮なくご発言いただきたいと思う。いかがであるか。特にご要望はないか。

(石田委員) 1月22日の水曜日は第4水曜日で、私たちのクラブの例会日になってしまうので、できれば第3水曜日で皆様のご都合はいかがであるか。

(中村議長) 今、石田委員からお話のあった1月22日の日程について、前倒しで1月15日、あるいは後ろに倒して29日という案が出たが、まず15日でご都合の悪い方はあるか。よろしいか。では、会議室のほうは。

(天野生涯学習課長) 場所は今すぐには確認できないので、15日に変更する方向で調整をさせていただく。

(中村議長) では、事務局から会議室の空き状況を確認して皆様にご通知するという事で、予定では1月15日、水曜日に変更ということでご了解いただきたい。では、この件についてはご了解いただいたということで進めさせていただく。

(3) 平成26年度の会議開催日について

(中村議長) 続いて協議事項(3)平成26年度の会議開催日についてを議題とする。事務局から説明をお願いします。

(天野生涯学習課長) 現在、10月31日を締め切りとして、平成26年度の全庁的な会議室の利用予定について調査がかけられている。場所の確保の関係で来年度の利用を本日決めていただきたいのでご協議をお願いします。なお、条件としては、三者合同会議を含め年8回開催することと、行政側の職員が出席できるように市議会の開催月を除くことを原則としていただくようお願いする。極力多くの委員が出席できるように調整いただくようお願いする。

(中村議長) 事務局からのご説明が終わった。開催日について何かご希望の条件等があればご意見をいただきたい。例えば何曜日がいいとか、あるいは何週目がいい、あるいは毎月何日前後は出席できない等、それぞれの事情がおありと思うので、お仕事やほかに所属している会のスケジュール等を勘案考慮の上ご調整をお願いしたい。ご要望等あるか。遠慮なくどうぞ。

(倉持委員) 前の期もそれでほとんどだめであったのだが、春から夏までは水曜日の午前中に授業が入っているので、よけていただくとマイカ休みということにはならないので、もし可能であればご配慮いただきたい。

(中村議長) 春から夏というのは何月から。

(倉持委員) 4月から7月の間は水曜日の午前中が本務のために難しい。

(中村議長) 倉持先生から、4月から7月は水曜日の午前中は避けていただきたいというお話があった。ほかの委員でスケジュール的に。

(石田委員) 月曜日か金曜日だと助かる。

(中村議長) 全くであるか。ほかの火曜日や木曜日は。

(石田委員) 木曜は稽古が入っているので、第1から第3までの火・木はだめである。

第4は大丈夫。

(中村議長)では、それぞれの委員の中でだめな曜日があると思うので、今年度はこのままということで、来年度はアンケートのような形で集約するような形でいかがであるか。それで最大公約数的に参加できる日程、曜日を勘案の上で再考するということがどうかであるか。事務局、ご協力いただけるか。

(天野生涯学習課長)事務局としては、先ほど申し上げたとおり、10月31日が締め切りで会議室の予約をしなければいけない関係があるので、そこまでに決めさせていただきたいと思っている。皆様宛に電子メールで調査をかけさせていただき、それを集約したものを再度改めてメールで流すという形をとらせていただいてもよろしいか。

(中村議長)それで期限を切らせていただけてやっていただけて、最大公約数的に参加の多い曜日等で設定する形でお願いします。

(天野生涯学習課長)はい。

(中村議長)では、今、事務局からお話があったように、皆さんからそれぞれの要望を集約した形で勘案していただけるということであるので、この件については少し預からせていただく。

(西田生涯学習部長)この件について一つ発言をさせていただきたい。事務局側の都合であるが、7月・8月は毎週水曜日、それ以外の月は毎週火曜日の午前中は庁議、市の取締役会のようなものを持っており、その関係で私が、その日に当たってしまうと全日出られなくなってしまうことになるので、その辺ご配慮いただける形で組ませていただければと思う。よろしくお願いします。

(中村議長)そのあたりは最優先ということで。皆さんご了解いただけたか。

(「はい」の声あり)

という形で、事務局と各委員の双方で一番妥当なところで設定していただけるということであるので、皆さんメールの返信をお願いしたい。では、会議日程については以上である。

(4) 小委員会委員の選任及び日程の検討について

(中村議長)次の議題に移る。協議事項(4)小委員会委員の選任及び日程の検討についてを議題とする。事務局から説明をお願いします。

(天野生涯学習課長)小委員会については、議長、副議長及び委員3名の計5名にお願いして、年5回開催をしている。今年度についてはあと3回残されている。会議内容については、これまでは生涯学習支援センター機能の創設に向けての提言をまとめることを中心としてきたが、提言については8月にまとめ、既に教育長宛に提出されている。今年度の残り3回及び来年度以降については、本日の協議事項(8)である小金井市生涯学習推進計画についてを中心にご議論させていただきたいと思っている。具体的には、今年度の残りについては、第2次生涯学習推進計画の見直し及び評価について。平成26年度については、第3次生涯学習推進計画の素案の作成について中心

に取り組んでいただきたいと思いますので、その辺を考慮の上メンバーの選出をお願いしたい。事務局からは以上である。

(中村議長) ただいま事務局からの説明が終わった。それではまず小委員会のメンバーを決めたい。立候補、推薦、どちらでも可能であるが、ただ、今後の小委員会の中で検討する議題については、今事務局からお話もあったようにかなり重い課題が山積しているの、後でお話があるが出向していただく図書館協議会、それから放課後子どもプランとの関係、その辺の調整もあるので、そのあたりを両方勘案した上で人選に当たっていただきたいと思います。それでは、立候補、推薦、どちらでも結構であるが、ないか。これは私の個人的な考えで恐縮であるが、小委員会のメンバーについては、議長、副議長が入って、残りの3名は委員から選ばれているというのがこれまでのいきさつである。それが1つ。それから放課後子どもプランが1人、図書館協議会運営委員が1人で、小委員会等を含めて計7名の方が選出されることになる。できれば、私の意見であるが、小委員会についてはこれまでのいきさつも知っておられる方、つまりこれまで社会教育委員を務めてこられた方を中心に、そして放課後子どもプランと図書館協議会の委員の方については新しく入られた方を中心に選任したいと思うが、異議ないか。その方向性で決めたいと思うが、異議のある方はあるか。

(「異議なし」の声あり)

では、私のほうから1人、小委員会の委員として、倉持先生にはこれまで3期にわたり社会教育委員を務めていただき、経験も豊富で知識もおありであるので、まずぜひ倉持先生には小委員会に入らせていただきたいと思います。皆さん、ご異議ないか。

(「異議なし」の声あり)

これまでの慣例からすると、議長、副議長、そして皆さんご異議がないようであるので倉持先生に入らせていただくということで、あとお二方を選任しなければならないが、本多委員、ご意見あるか。

(本多委員) 私も流れをある程度。全部はわからないが、倉持先生と一緒に受けさせていただきたいと思います。

(中村議長) 今、本多委員からお話があったが、私も最適ではないかと思うが、皆さん、ご異議ないか。

(「異議なし」の声あり)

あともうお一方であるが、立候補あるいは推薦で。

(清水委員) 宗像先生が学校関係であり、それなりの情報をお持ちであるので。今日はいらっしゃらないが。

(中村議長) 今、清水委員からお話があった、宗像委員にやっていただくということで異議のある方はあるか。

(「異議なし」の声あり)

(中村議長) 異議がないようであれば、一応これで、正副議長、それから倉持委員、本多委員、宗像委員の5名で小委員会を運営させていただきたいと思います。異議のあ

る方はあるか。

(倉持委員) ご本人がいらっしゃらないので、仮ということで、本人のご了解を得て。もしご多忙で、もしかすると難しいのではないかという気もするので、その場合は交代ということではいかがか。

(中村議長) 今、倉持委員からお話があったが、宗像委員はご欠席であるので、もちろん本人了解を取りつけさせていただいた上で正式に小委員会の委員になっていただくということでご理解いただきたい。では、そういう内容で今後進めさせていただく。事務局のほうで宗像委員への打診をお願いします。これで小委員会のメンバーは内定ということとする。

次に小委員会のメンバーの中で日程を決めたいと思うが、ご意見、ご要望はあるか。原嶋副議長は。

(原嶋副議長) 私は午前中であれば。

(中村議長) 倉持委員と本多委員はいかがであるか。

(本多委員) 校長会の集まりが割と水曜日が多いので、今決めるのも難しいと思う。

(中村議長) では、この場では決められないと思うので、まず宗像委員の承諾を得た上で日程調整ということで、預らせてよろしいか。

(倉持委員) 3月までにあと3回はやると。

(中村議長) そうである。3月までにあと3回である。では、まず宗像委員の承諾を得た上で、宗像委員のスケジュールを確認し、それ以外の委員の方のスケジュールもあわせた中で日程を3回決定させていただくということをお願いしたい。では事務局、その辺のご連絡をお願いします。

(5) 第12・13期小金井市図書館協議会への出向委員の選任について

(中村議長) 続いて、先ほど申し上げたように第12・13期の小金井図書館協議会への出向委員の選任についてに移る。協議事項(5)である。事務局から説明をお願いします。

(天野生涯学習課長) 第12期小金井市図書館協議会への出向については、第26期社会教育委員から小林委員が出向をしていた。平成25年9月8日をもって第26期社会教育委員の任期が満了したことに伴い、現在欠員となっている。第12期小金井市図書館協議会については、ことしの10月31日をもって任期終了を迎えることとなっており、それまでの間、会議の予定はなく、図書館協議会の事務局からは欠員の補充は必要ないと聞いている。したがって、本日は平成25年11月1日から平成27年10月31日までの2年間を任期とする第13期小金井市図書館協議会への出向委員について選任していただきたい。事務局からは以上である。

(中村議長) 事務局からの説明が終わったが、図書館から上石館長補佐、補足説明はあるか。

(上石図書館長補佐) 図書館長補佐の上石である。よろしくをお願いします。お手元に配

付した推薦依頼についての日付が9月10日であることを説明させていただく。提出期限も9月27日となっており、もう過ぎていることになってしまいが、ほかの団体の方に推薦をお願いしたのと同じのためであるのでご了承いただきたい。あと、資料として、小金井市図書館協議会条例をつけてある。第3条の協議会委員というところの第3項に、社会教育委員、うち1人以内というところの委員の推薦をお願いしたい。今年度、あと2回、協議会の開催予定である。来年度については、通常年3回の協議会になっている。また、こちらのほうは、検討事項等があった場合は4回、5回と、予算の絡みもあるが、まだ予算が確定しないので、通常は年3回ということでご理解いただきたい。説明は以上である。

(中村議長) 今お話のあった条件で、どなたか立候補あるいは推薦の方はおいでになるか。図書館協議会のメンバーは、今度の新しい期でメンバーはかなり変わるのか。

(上石図書館長補佐) はい。公募委員の選考会も昨日終わったばかりであるが、3名は新しい方である。あと、10名の枠の中のほとんど全員の方が新しい委員になる。

(中村議長) そういう意味では、もうほとんど全く入れかえに近い状況であるし、発言も割としやすいかなというところはあるかと思う。我こそはと思う方はおいでになるか。ことしが残り2回、来年が3回、計5回である。

(本多委員) ちらっとお聞きしたら、ソロプチのほうの推薦がことしは枠に入っていないと。

(石田委員) はい。ことしは枠に、推薦立候補者が誰もいなかったのも、ソロプチミストはいない。

(本多委員) なので、石田委員にぜひいかがかと。

(石田委員) 何もわからないが、ではさせていただきます。

(中村議長) 石田委員のご推薦があったが、皆さん、ご異議がなければ。

(「異議なし」の声あり)

それでは正式に石田委員は社会教育委員からの出向ということで、図書館協議会委員をお願いしたい。

(石田委員) よろしく願います。

(中村議長) それでは、早速であるが石田委員から抱負をお願いする。

(石田委員) 抱負というほど申し上げられないが、ことしはソロプチミストのほうに立候補者が誰もおらず、とりあえず会からの推薦を見送らせていただいたが、まさか私に回ってくるとは思わなかったが。この委員会にということは決まっていたので、あまり抱え過ぎると思っていたのですが、どのくらいできるかわからないが、できる限りさせていただきたいと思う。どうぞよろしく。

(中村議長) よろしく願います。

(6) 放課後子どもプラン運営委員会への出向委員の選任について

(中村議長) 続いて次の議題に移る。放課後子どもプラン運営委員会への出向委員の

選任について。協議事項（６）になる。事務局から説明をお願いします。

（天野生涯学習課長）放課後子どもプラン運営委員会については、本日、都合により欠席されている樹委員が出向しているところである。社会教育委員についてはここで第２６期から第２７期へ移ったが、放課後子どもプラン運営委員の任期については平成２５年４月２６日から平成２６年３月３１日までとなっている。樹委員ご本人には事前にご連絡をし、引き続き出向していただけることを確認させていただいているので、本日それでご異議ないようであれば第２７期も引き続き樹委員に出向していただきたいと事務局としては考えている。よろしくをお願いします。

（中村議長）事務局からの説明が終わったが、事務局からのご提案どおりでよろしいか。樹委員に出向していただくということで異議ないか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、この場で樹委員に引き続きお願いするということが決定させていただく。

（７）全国大会等参加団体補助金の交付について

（中村議長）次の議題に移らせていただく。全国大会等参加団体補助金の交付について、協議事項（７）である。事務局から説明をお願いします。

（天野生涯学習課長）配付した資料にあるとおり、小金井野球クラブという団体が平成２５年８月にオーストラリアのシドニーで開催された国際大会に出場をしている。これは平成２５年５月に開催された春季関東中学生軟式野球大会が本大会の予選を兼ねており、そこで優勝したことにより出場権を得たものである。このたび、出場した団体より、大会参加に要する費用について補助金交付の申請があった。社会教育法第１３条の規定により、地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合にはあらかじめ社会教育委員の会議の意見を聞いて行わなければならないとされていることから、本日意見をお伺いしたく議題とさせていただいたところである。

以上、よろしくをお願いします。

（中村議長）事務局からの説明が終わったが、何か皆さんのほうでご意見、ご質問等があればお願いしたい。

（天野生涯学習課長）若干補足の説明をさせていただく。資料の裏面に、全国大会等に参加する団体への補助金交付事務取扱基準ということで、こちらは要綱のような形で規定されたものではないが、担当職員が扱うための一定の基準を定めたものであり、補助の対象経費については、大会等に参加する旅費、参加費という形になっている。上限が対象経費の２分の１で、金額としては２０万円が上限になっている。今回はシドニーへの旅費ということで、旅費だけで既に交付額の上限となっているので、今回は対象経費としては旅費のみという形で申請を受けている。資料にあるとおり、交付の目的としては、優秀な成績をおさめたすぐれた団体の負担を軽減し、健全な団体を育成し、積極的な活動を支援するために行っているもので、この補助金制度が始まった経過としては、学校などが部活動などで大きな大会に出るときに補助が出る。それ

に対して、部活がなかったりしたときに、そのスポーツをやっている競技団体が全国大会等大きな大会に出るときに、同様に費用負担をしてあげたほうがいいのではないかとこのところから始まった制度である。そういったことも考慮の上、ご協議をよろしく願います。

(中村議長) ご意見ないか。では、関連するところで原嶋副議長、いかがであるか。

(原嶋副議長) いいことであると思う。今おっしゃったように、学校では独自に出ると思うが、クラブになるといろいろなクラブが発展してきているので、そういったことに対してこういった担保を与えるというのはいいと思う。

(中村議長) ありがとう。ほかにご意見はあるか。

(清水委員) どういう代表で出たのか。

(天野生涯学習課長) 関東大会で優勝した結果、参加権を得て国際大会に出場ということである。

(清水委員) 東京都とか、そういう広域の行政で、そういうことでの助成金はないのか。非常に費用がかかっている。

(天野生涯学習課長) こちらは今回の団体からの申請によると、今回の交付金20万円以外の財源については個人負担となっている。制度があるないというのは私のほうでは把握はしていないが、申請は小金井市にだけされている。

(中村議長) 清水委員、いかがであるか。

(清水委員) 少年野球などによく応援しているということもあって、勝ったのはいいが勝ち進んでいくと大変だというような話もよく聞く。そういう意味では、地区代表ということで、費用がかかるから行かないというわけにはいかないわけで、勝つという中で、もう少しそれなりの補助があったほうがいいのかなという気もするが、市の規定の中でのことであって、一つ感じるのは、国内と国外で随分負担も違うので、そういう規定についても、こういうことが起きたことをきっかけに、国外の場合には上限を多少拡張してあげるとか、そういうことも必要かなという気がした。

(中村議長) 事務局、いかがであるか。規定の改定とかそういうことはなかなか難しいことであるか。

(天野生涯学習課長) 補助金に関しては、庁内の補助金検討委員会というものがある。もし規定を変えるということになると、そこに諮って検討していただくことになるかと考えるが、現状を考えると、財政的なものもあるし、もともとこちらが全国大会等に参加する団体への補助金交付ということで、対象としては全国大会を想定している。その中で、全国大会等ということで、全国大会に限らずそれに類するような大会に参加した方へは補助してあげようということをやっている。であるから、もともと、海外の大会と国内の大会ということで分けたような考え方はなかったというのが今までの状況である。

(清水委員) そういうことであれば特に結構である。

(中村議長) では、ほかの委員からご意見がないようであれば、承認ということによ

ろしいか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとう。

(8) 小金井市生涯学習推進計画について

（中村議長）続いて、小金井市生涯学習推進計画について。協議事項（8）である。事務局から説明をお願いする。

（天野生涯学習課長）まず、本市の生涯学習に係る現行の計画としては、第2次小金井市生涯学習推進計画というもので、平成21年3月に策定されたものである。本日、新しい委員にお配りさせていただいたものになる。計画期間としては平成21年度から平成25年度までの5年間となっているので、本来であれば、ことし第3次生涯学習推進計画を策定すべきところであるが、市の最上位計画である小金井基本構想との計画年度のずれを解消するために2年間延伸し、次の計画については平成28年度から平成32年度までの5年間を計画期間とするものを策定することとしたところである。しかしながら、もともとの計画期間が今年度で終了するということがあるので、第2次生涯学習推進計画についての評価や延伸期間中の見直しについて、今年度検討していただきたいと考えている。本日は第27期第1回目であるので、具体的な協議は次回以降になってくるかと思っているが、本日については、第2次生涯学習推進計画の評価及び見直し、また第3次生涯学習推進計画の策定スケジュールについて、大まかなスケジュールを事務局案として示しているので、それについて何かご意見があれば伺いたいと思っている。また、本日、資料として平成24年度第2次小金井市生涯学習推進計画の実施状況及び方向性調査結果を配付している。こちらは前回、第26期の最後の委員会でも配付して説明したものであるが、こちらは見直しの必要性を確認するために全庁にかけた調査の結果である。事務局としては、計画策定時と現在においてさほど大きなずれはないかと思っているが、既に終わった事業、それから新規事業等もあるので、これを参考に必要な見直しについて今後ご協議していただければと思う。事務局からは以上である。

（中村議長）事務局からの説明が終わったが、本件についてはきょう1回で結論が出るような内容のものではなく、事務局から示していただいたスケジュールにもあるとおり、今後時間をかけて協議していくものであると考える。本日はスケジュールや全般的なことについての協議にとどめたいと思うが、これについて何か、各委員からご質問、ご意見等はあるか。

（清水委員）資料の見方を教えてほしい。矢印がついているが、どういう意味合いを持っているのかなど、ご説明いただけるか。

（天野生涯学習課長）こちらは、今回、平成23年度と平成24年度について、各事業の実績を調査させていただいている。例えば、この中の教室や講座だと参加人数が指標とされたりしており、単純に指標となる数字の増減を矢印であらわしたというこ

とである。一方で、今日配付した生涯学習推進計画の中でも矢印の記載があるが、その矢印とは若干違っていて、計画のほうの矢印については、担当する各課が考えている方向性を示しており、それとは若干違う形になっている。

(清水委員) 方向性というのはどういうことか。

(天野生涯学習課長) 今日お配りした資料の中の、例えば17ページを見ていただくと、一番下の囲みのところで、施策の内容、方向性の見方というものがある。上向きの矢印は拡充ということで、その事業について人員や規模、回数などを拡大しようとして所管課で考えているものである。斜め上の矢印については推進ということで、規模はそのままとしても、内容や質のより一層の充実を図りたいと考えているような事業である。横向きの矢印については継続ということで、これまでと同様に実施していく事業という形になっている。今回示している矢印は、これとは直接リンクはせずに、単純に実績値の比較であらわしているものである。

(中村議長) ほかに、今回配付されたこのスケジュールと資料について、ご質問のある委員はいるか。今お話し申し上げた第2次生涯学習推進計画の評価及び見直し、あるいは第3次生涯学習推進計画の策定スケジュールと、非常に重い課題であると考えているので、これから熟議を重ねながら、この会議で討議していくことになるかと思う。ほかに特にご意見はないか。よろしいか。

特にご意見がなければ次の協議事項に移らせていただく。

(9) その他

(中村議長) その他として何かあるか。特にないか。特にないようであれば、続いて報告事項に移らせていただく。

3 報告事項

(1) 第32期公民館運営審議会委員の委嘱について

(中村議長) 報告事項(1)第32期公民館運営審議会委員の委嘱について、報告をお願いします。

(大関公民館長) 公民館長である。小金井市公民館運営審議会委員の委嘱についてご説明させていただく。第31期の公民館運営審議会委員が、本年9月8日で任期満了になり、別紙資料のとおり第32期の委員10名の選出を行った。内容については、4月15日に各団体・機関等に推薦依頼をし、5月28日の選考会議において10名のうち7名の委員を選出している。また、6月1日号の市報で残りの3名の方を市民公募したところ、9名の方からご応募をいただき、6月28日の1次選考及び7月18日の2次選考会議で選出を行った。なお、この10名の委員については、裏面になるが新任者が2名、再任者が8名で、男女比は50%ずつ、平均年齢は62歳となっている。以上、別紙のとおり、この10名の方については小金井市公民館運営審議会規則及び小金井市公民館運営審議会委員候補者選出要綱に基づき候補者名簿に登載し

ていたが、過日の8月27日の第9回教育委員会においてご議決をいただいたので、9月13日の第32期公民館運営審議会の第1回目の会議において選任し、委嘱状を交付したのでご報告する。よろしく願います。以上である。

(中村議長) ありがとう。

(2) スポーツ祭東京2013について

(中村議長) 続いて報告事項(2) スポーツ祭東京2013について、報告をお願いします。

(尾崎国体推進担当課長) 国体担当の尾崎である。どうぞよろしく願います。それでは、小金井市で開催した第68回国民体育大会のご報告をさせていただく。開催報告(1)の資料をごらんいただきたい。競技会名は弓道競技会ということで、平成25年9月29日、日曜日から、10月2日、水曜日までの4日間行った。会場については都立小金井公園弓道場である。主催については記載のとおりである。種別及び参加人数は、成年男子・女子及び少年男子・女子である。都道府県の参加は、成年男子が30、成年女子が24、少年男子・女子が19である。選手・監督を含めて314人の参加であった。次に競技結果である。ごらんの表のとおりであるが、1位から4位までを記載した。なお、競技別の男女総合優勝及び女子総合優勝については、高知県が2年連続で優勝を果たしている。なお、優勝チームには小金井市から記念品の贈呈を行った。続いて競技運営及び競技会運営である。競技役員は東京都の弓道連盟の方が主になるが、実人数で143人。競技補助員、これは東京都の弓道部の高校生が実人数で176人。競技会係員、これは市の職員になるが349人。競技会補助員、こちらが市民ボランティアになるが実人数で127人である。裏面をごらんいただきたい。来場者数である。9月29日から10月2日まで、近的競技が9,122人、遠的競技が7,886人で、合わせて弓道競技で1万7,008人の方にご観覧いただいた。次にシャトルバスの運行実績である。こちらは前日の9月28日から、28日は審判会議及びトロフィー返還式、監督会議があったので、9月28日も運行したということである。東小金井駅から小金井公園までの運行実績が合計で3,361人。小金井公園から東小金井駅までの帰りの人数が3,546人であった。次に、売店・おもてなしの関係である。売店コーナーについては、国体記念品の店が3店舗、スポーツ用品が6店舗、郷土物産品が1店舗、飲食が3店舗、その他で2店舗になっている。ふるまいコーナーであるが、こちらは9月29日に、市内の銘菓の配布ということで、約200円程度のものを350食配布した。翌日の9月30日は、お好み焼きを一口サイズのを約250食用意し、協力団体の方にやっていただいた。次に歓迎装飾である。歓迎のぼり旗ということで、都道府県別の応援メッセージ入りのぼり旗を市内の小中学生に書いていただき、約150本用意した。シャトルバスの乗降口から競技会場までの両サイドにのぼり旗を設置し、歓迎したものである。応援横断幕については、市民の皆様から応援メッセージをいただいたものを観覧席の後ろに張り、

約40枚程度であるが、そういったものの横断幕を設置した。そのほか、歓迎花いっぱいプランターということで約300個、市民のボランティアの方に応援メッセージを入れていただき、会場内を花いっぱい歓迎した。そのほか、歓迎絵画作品として、東京学芸大学の造形教室たけとんぼというクラブが、小学生と一緒に絵で歓迎をしていただいたというものである。次に協賛団体である。小金井市では8団体から協賛をいただいた。内容はごらんとおりである。そのほか、御成りであるが、9月29日の日曜日の午前中に、常陸宮様が、近的競技の少年女子予選1回戦を約20分程度ごらんいただいた。弓道競技は以上である。

続いて(2)バスケットボール競技会である。こちらは期日が平成25年10月4日、金曜日から、10月8日、火曜日までということで、小金井会場については10月4日、金曜日から10月6日の3日間である。会場については記載のとおりである。主催についても記載のとおりである。種別及び参加人数である。成年男子が12都道府県、成年女子が47都道府県で、これは1年ごとにかわる形になっている。少年男子、少年女子については12チームずつで、選手、監督を含め1,032人がバスケット競技の参加人数である。なお、小金井会場については、成年男子が10チーム、成年女子が7チームの参加で競技が行われた。全体的な競技結果である。まず成年男子は東京都が第1位で、成年女子は栃木県、少年男子は東京都、少年女子は愛知県ということで、競技別の男女総合優勝に東京都が、女子の総合優勝に千葉県が輝いている。なお、小金井会場については、成年男子の3位表彰を1回、5位表彰を2回実施している。あと成年女子の5位表彰を1回実施した。次に、7の小金井会場の競技運営及び競技会運営である。こちらについても小金井市のみの競技役員の数である。こちらは45人。そして高校生の競技補助員は62人。競技会係員、市の職員であるが、こちらは226人。市民ボランティアは96人となっている。なお、小金井会場の来場者数であるが、10月4日から10月6日までに、一般観覧者が合わせて5,482人。学校観戦を10月4日に行い、市内の小中学生、1,114人が観戦し、合わせて6,596人である。シャトルバスの運行実績である。東小金井駅から小金井公園までが3日間で787人。そして小金井公園から東小金井駅までが1,132人であった。なお、福祉タクシーの運行実績ということで、大会期間中、東小金井駅から車椅子でのご来場もできるようにということで待機をさせた。結果的に、10月5日に6件、東小金井から3件、小金井公園から3件、往復ということになるが、こういった実績であった。次に売店・おもてなし関係である。こちら先ほどと同じである。歓迎装飾についても同じである。(3)のおもてなしイベントということで、弓道競技ではできなかったが、10月6日に2回、11時と13時に、一般休憩所前でゆりーとダンス等を披露した。出演団体は指定管理者であるTACゆりーとダンサーズ、そこで指導している子供たちのダンスということである。協賛は先ほどと同じで8団体であった。私のほうからは以上である。

(中村議長) ありがとうございます。尾崎課長、大変お疲れになったことと思う。ほかに、各委

員の皆様からご報告事項はないか。なければ、私のほうから引き継ぎ事項ということで、実は前26期の本川議長から、第27期社会教育委員の会議委員の皆様へということで引き継ぎ事項を受け取っている。新たに委員になられた方はまだごらんになっていないかと思う。それをかいつまんで申し上げて、これから社会教育委員としての活動について、指導というか引き継ぎ事項になるかと思うので、かいつまんで申し上げる。第26期社会教育委員の会議委員は、24期から引き継いだ地域ネットワークづくりの構築に向けて、25期のまとめとして「生涯学習支援センター創設に向けて（2011年8月）」を引き継ぎ、三者連名で下記のを小金井市教育長に提出した。提言「小金井市生涯学習支援センター機能の実現に向けて（2013年8月）」。第26期社会教育委員の会議・第12期図書館協議会・第31期公民館運営審議会。申し送り事項。1、三者、つまり社会教育委員、図書館協議会、公民館運営審議会が、今後も協力し、提言の実現に向け協議を進めることを希望する。2、三者の登録団体の登録書のフォームの一元化を検討すること。3、科学の祭典に引き続き出展し、三者のつながりを進めること。4、市内小中学校の学校運営連絡会への参加。5、会議への出席を優先させること。第3次小金井市生涯学習推進計画を検討する中で、提言「生涯学習支援センター機能」またはその内容を含む文言の挿入を検討することを切に希望する。第27期社会教育委員の皆様のご活躍を祈念申し上げます。2013年9月、第26期社会教育委員の会議。ということで、申し送り事項が出ている。各委員からの申し送り事項をまとめた内容が、今、私が代読させていただいた内容になるので、よろしくお願ひしたい。特に、今後いろいろな事業を行うに当たって、社会教育委員のみならず、図書館協議会、それから公民館運営審議会との連携が、今後とも必要になってくるかと思うので、そのあたりも念頭に置きながら今後の活動をお願ひしたいということと、本川前議長からのご要望で、市内の小中学校の学校運営連絡会への参加ということで、実際、本川議長は2中の学校運営連絡委員になっていただいているし、私も前原小学校の学校運営連絡会に参加している。今後、来年度の学校運営連絡委員の公募があらうかと思うが、積極的にそのあたり、立候補していただくようお願ひしたい。学校教育と社会教育の連携ということで、それも念頭に置いていただきたいということ。あと、今後の会議については、この委員会あるいは小委員会のみならず、結構いろいろな式典あるいは行事があるので、それらにも今後積極的に参加していただきたく思うので、そのあたりも含めてよろしくお願ひしたい。

ほかに、事務局のほうからあるか。NPO法人市民図書館小金井ということで、今、（仮称）貫井北町センターが来年4月オープン予定ということでいろいろ動いているが、その辺について何かご報告は事務局からあるか。

（西田生涯学習部長）現時点では特にない。

（中川議長）では、そのあたりもまた、今、都へNPOの登録団体の申請中ということで、まだ具体的なことは今後お話があらうかと思うが、1月からいろいろ具体的な中身が、詳細が煮詰まってくるかと思うので、よろしくお願ひしたい。

特にほかにご意見、ご報告はないか。

なければ、ちょっと早いが今日はこのあたりで会議を閉じさせていただく。

以上